

令和4年度

教育行政の点検及び評価報告書

令和5年6月

若桜町教育委員会

## 自己点検及び評価の構成

### 1 項目

次のような項目で構成し、点検・評価を行った。

「1 令和4年度教育委員会の活動状況」、「2 教育委員会の活動(点検及び自己評価)」、「3 管理・執行を教育長に委任する事務(点検及び自己評価)」

### 2 取組の概要

「令和4年度教育行政施策」に基づき、基本施策に沿って実施した主な取組を提示した。

### 3 点検・評価の方法

令和4年度の施策の進捗状況や課題等を点検し、取組についての評価を以下の基準で行った。

評価	基準
4	十分成果が得られた
3	行政施策の内容がほぼ実施できた
2	行政施策の内容があまり実施できなかった
1	行政施策の内容がほとんど実施できなかった

# Ⅰ 教育委員会の活動状況

## (1) 教育委員会の主な状況

### ① 教育長、教育委員の在任状況

職名	氏名	就任年月日	任期	備考
教育長	新川 哲也	H28.10.4	R5.3.31	退任
委員	伊井野 早苗	H28.10.5	R6.10.4	職務代理 H29.12.21~
委員	福田 浩子	H26.12.20	R8.12.19	
委員	森岡 則明	H29.12.21	R7.12.20	保護者
委員	永原 直子	R4.1.1	R5.12.31	

### ② 教育委員会の開催状況

(ア) 教育委員会定例会 12回

(イ) 教育委員会臨時会 1回

### ③ 教育委員会での審議状況

(ア) 令和4年度審議案件(定例会)

議案 番号	件名	提出日
1	令和4年度5月補正予算の要求について	4月27日
2	令和4年度若桜町共同学校事務室の室長の任命について	//
3	令和4年度若桜町立若桜学園の主任等の任命について	//
4	令和4年度地域学校協働活動推進員の任命について	//
5	若桜町スポーツ推進員の委嘱について	//
6	令和4年度5月補正予算の執行について	5月25日
7	令和4年度6月補正予算の要求について	//
8	若桜学園学校給食費補助金交付要綱の一部改正について	//
9	令和4年度若桜町立若桜学園の学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について	//
10	令和4年度学校評議員の委嘱について	//
11	若桜町学校運営協議会(子どものための学校づくり協議会)委員の任命について	//
12	若桜町社会教育委員及び若桜町公民館運営審査会委員の委嘱について	//
13	令和4年度学校給食センター運営審議会委員の委嘱について	//
14	令和3年度教育行政の点検及び評価報告書について	//
15	令和4年度アクションプランについて	//
16	令和4年度6月補正予算の執行について	6月22日

17	若桜町使用料徴収条例の一部改正について	〃
18	若桜町ふれあい広場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃
19	若桜町ふれあい広場の管理及び使用に関する規則の一部改正について	〃
20	若桜学園校庭及び池田花の木広場照明施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について	〃
21	令和4年度若桜学園児童生徒要保護及び準要保護の認定について	7月27日
22	若桜町教育委員会事務局組織規則の一部改正について	〃
23	令和4年度9月補正予算の要求について	8月24日
24	若桜町奨学資金審査委員会の委員の委嘱について	〃
25	令和4年度9月補正予算の執行について	9月28日
26	外国語指導助手の任命について	〃
27	令和4年度12月補正予算の要求について	11月30日
28	令和4年度12月補正予算の執行について	12月21日
29	令和5年度若桜学園児童生徒要保護及び準要保護の認定について	〃
30	令和5年度当初予算の要求について	1月25日
31	若桜町教育委員会傍聴人規則の一部改正について	〃
32	令和4年度3月補正予算の要求について	2月22日
33	若桜町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	〃
35	令和4年度3月補正予算の執行について	3月23日
36	令和5年度当初予算の執行について	〃

(イ) 令和4年度審議案件(臨時会)

議案番号	件名	提出日
34	令和4年度末公立学校教職員人事異動の内示について	3月8日

④ 教育委員会会議以外の活動状況

(ア) 教育委員会による学校訪問

- ・若桜学園(前期 令和4年7月27日)・・・意見交換会
- ・若桜学園(令和4年11月3日)・・・学習発表会
- ・若桜学園(後期 令和4年11月30日)・・・授業視察、意見交換会

※以下の行事は教育長のみ出席

- ・若桜学園(令和4年4月8日)・・・入学式
- ・若桜学園(令和4年9月10日)・・・運動会

- ・若桜学園(令和5年3月10日)・・・卒業式
- ・こども園(令和4年4月4日)・・・入園式

(イ) 意見交換会

- ・若桜町総合教育会議(令和4年11月24日)

(ウ) 社会教育施設・社会体育施設訪問

- ・第1及び第2町民体育館、八幡広場(令和4年6月22日)
- ・ふれあい交流センター(令和4年9月28日)
- ・池田分館・旧池小体育館屋内運動場(令和4年12月21日)

⑤ 各種会議・研修会への参加

- ・鳥取県市町村教育委員会研究協議会研究大会(令和4年7月1日)
- ・第14回中国地区市町村教育委員会連合会研修大会(令和4年8月18、19日、山口県)
- ・市町村教育委員会委員研修会(令和5年1月27日、オンライン)

2 教育委員会の活動(点検及び自己評価)

	施策	項目	令和4年度自己点検・評価		主な取り組み結果(実績)	次年度に向けての方策
			目標	評価		
教育委員会の活動	(1) 教育委員会の会議の運営状況	ア 教育委員会会議開催	・教育委員会会議規則に基づき毎月定例会と、必要に応じ臨時会を開催。	3	・定例会と臨時会が計画的に実施できた。	・必要に応じて臨時会を開催する。
		イ 教育委員会会議の運営上の工夫	・議案又は資料を事前に配布し、会議が効率的に運営できるようにする。 ・テーマを決め自由討議を行う。	3	・資料の事前配布を行った。 ・事前に自由討議のテーマを決めて意見交換を行った。	・会議の効率的な運営ができるよう配慮する。 ・資料の事前配付ができるよう準備を進める。 ・自由討議のテーマを事前に決めて、話し合うようにする。
	(2) 教育委員会活動の保護者や地域住民への情報提供・情報発信	ア 広報活動の状況	・教育プランに沿った教育行政施策の点検・評価を行い公表する。	3	・教育行政施策の点検評価をホームページに公表した。 ・所管事業の情報をIP告知、SNS、広報等で情報発信した。	・教育委員会所管の事業の状況などについて積極的に広報活動を行う。
		イ 議事録の開示・公開の状況	・開示請求があれば議事録の提示をする。 ・議事録の公開について協議・検討する。	3	・議事録の概要をホームページで公開した。	・議事録の概要公開は、今後も続ける。
	(3) 事務局の管理運営	ア 教育委員会の事務局管理運営	・事務局の事業実施状況を把握し、助言を行う。	3	・実施事業、予算関係等について説明を聞き、意見交換ができた。	・機会を捉え事務局事業の進捗状況を把握する。 ・事務局職員(事業担当職員)と意見交換を行う機会を持つ。
	(4) 町長部局との連携	ア 教育委員会と町長部局との連携	・総合教育会議を活用し、町長と意見交換を行い、教育施策の課題について協議を行う。	3	・総合教育会議で、不登校の現状と対策、子供たちの学力向上、高校生世代の地域活動の促進について協議を行った。	・総合教育会議を活用し、教育施策について意見調整等を行う。 ・総合教育会議において町長部局との情報共有を図る。
	(5) 教育委員の自己研鑽	ア 研修会への参加	・県市町村教育委員会研修会に参加する。 ・町内研修会・講座等に参加する。	3	・コロナ禍ではあったがオンライン及び対面による研修会に参加し、課題を共有することができた。	・県・東部で開催される教育委員研修会に積極的に参加する。
	(6) 学校及び所管施設の状況把握	ア 学校訪問	・若桜学園授業参観・教職員との懇談を実施する。 ・学校運営の取り組みを聴取する。 ・若桜学園・こども園行事等へ参加する。	3	・前期、後期の2回訪問し、授業参観及び課題等について学校管理職と意見交換を行った。 ・PTA役員と教育長、町長との懇談を実施した。	・学校訪問と併せ、教職員との意見交換会を実施するため、年間のスケジュールを立てておく。 ・PTA代表・保護者との教育懇談会を開催する。
		イ 所管施設の訪問	・体育施設・社会教育施設等を訪問し要望等現場の声を聞く。	3	・計画的に施設訪問を行い現状把握を行った。	・年次計画を立てて計画的な施設訪問を行う。

### 3 管理・執行を教育長に委任する事務（点検及び自己評価）

基本目標 1 確かな学力を育む教育の推進

基本施策 1	幼小連携・小中一貫教育の推進と充実
<p>①小中一貫教育の深化・充実</p> <p>【目標】 9年間の育ちを見通した学校行事や異学年交流、ブロックの体制について見直し、成果と課題をまとめます。キャリアパスポートの活用を軸として、地域との交流やキャリア教育等を深めることで、自分の進路を切り開く児童生徒の育成に努めます。</p> <p>【取組の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学校協働活動を生かした体験学習や交流学习等の充実</li> <li>・小学校、中学校それぞれの発達段階を踏まえ、連続的な小中一貫教育の推進</li> <li>・業務改善と効果的、効率的な学校運営の推進</li> <li>・学力向上を目指した1人1台タブレットの効果的な活用や個に応じた指導を充実させる</li> </ul>	
<p>【取組の成果と課題】</p> <p>教育課程の実施にあたり、地域学校協働活動の支援を受け、体験活動や交流学习を実施することができた。</p> <p>地域での学びを子どもシンポジウムや中学生の総合的な学習に位置づけ、キャリアパスポートを活用して実施できた。</p> <p>会議の時間の設定や進め方などを検討し、他の業務を圧迫することのないような運営を行うことができた。</p> <p>タブレット端末を学習に効果的に活用する授業が全学年で実施できた。</p>	
基本施策 1	幼小連携・小中一貫教育の推進と充実
<p>②幼児教育の充実</p> <p>【目標】 環境を通して行う教育を基本とし、遊びを通した指導の中で、生きる力の基礎や資質・能力が育まれるように努めます。</p> <p>【取組の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動を重視した心豊かな教育の充実</li> <li>・乳幼児期にふさわしい遊びや生活の中で、主体的な活動を促すための環境の充実</li> <li>・0歳からの発達と学びの連続性を踏まえた幼児教育課程の編成と実践の充実</li> <li>・個々の観察を丁寧に行い、発達段階に応じた支援の充実</li> <li>・指導者の保育研究会への積極的参加と指導助言の充実</li> </ul>	
<p>【取組の成果と課題】</p> <p>保育教諭の研修会参加を通して、園内で情報共有し、保育の充実を図った。</p> <p>幼保小連携については、園側も学校側もそれぞれの保育、教育内容に踏み込んだ指導助言が少ないため、機会を設けて実施していく必要がある。</p> <p>発達段階に応じた声のかけ方、支援の仕方などを工夫して保育にあたることができた。</p>	

評価
3

評価
3



## 基本目標 1 確かな学力を育む教育の推進

基本施策 1	幼小連携・小中一貫教育の推進と充実		
<p>③幼児教育と学校教育の接続強化と連携推進</p> <p>【目標】 若桜町一貫教育協議会幼保小連携部会を生かし、若桜学園とわかさこども園において義務教育終了時の子どもの姿を共有します。また、年長児から小学校1年生を中心として円滑な接続と連携を深め、0歳から15歳まで一貫した教育・保育の推進を図ります。</p> <p>【取組の概要】 ・若桜町一貫教育協議会において、保育と教育でめざす姿を共有し、実践を充実させる ・幼保小連携部会と教育相談連携部会、福祉保健課による子どもや家庭背景への共通理解と町全体での支援体制の充実</p>			
<p>【取組の成果と課題】 保育計画を、学校の教育目標を参考にしながら共有できるポイントを挙げて作成することができた。 保健センター、こども園、学園、教育委員会が連携を取りながら、支援の必要な子や家庭に対するアプローチができた。</p> <table border="1" data-bbox="1161 887 1299 992"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> </table>		評価	3
評価			
3			
基本施策 2	英語教育とICTを活用した教育の充実		
<p>①英語教育の推進</p> <p>【目標】 小学校における英語教育の完全実施にともない、これまで先行実施してきた研究の成果を生かすとともに、ALTとの連携により英語力の向上に努めます。</p> <p>【取組の概要】 ・ALTの配置と効果的な活用 ・ALTと連携した授業実践と全校を対象とした英語活動の充実 ・中学校教員の専門性を活かした小中連携英語教育の推進 ・こども園における英語に親しむ機会の充実 ・英語教育指導体制の充実と指導する教職員の英語力の向上 ・英検検定料助成を活用し、資格取得者の拡大とより上級取得の実現 ・オンラインを活用した英会話学習によるスピーキングの向上</p>			
<p>【取組の成果と課題】 県教育委員会の訪問を通して、英語科の課題を共有するとともに、ALTの活用場面や「スピーキング」を重視した授業を工夫することができた。 こども園での英語に触れあう活動を、目標を掲げて計画し、幼児期から英語に触れあえる機会をつくることができた。 オンラインによる英会話事業を実施し、既習事項を使って他者との会話の充実を図ることができた。</p> <table border="1" data-bbox="1171 1861 1308 1966"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> </table>		評価	3
評価			
3			

基本目標 1 確かな学力を育む教育の推進

基本施策 2	英語教育とICTを活用した教育の充実		
<p>② 国際交流の推進と英語に親しむ機会の充実</p> <p>【目標】 国際交流を推進するとともにALTをはじめとした外国の人々と交流の場を創出し、生きた英語に触れたり、学んだことを使って実践する活動ができる機会の充実に努めます。</p> <p>【取組の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若桜学園児童生徒が外国の人々とふれあう機会の充実</li> <li>・こども園における英語に親しむ機会とその内容の充実</li> <li>・子ども英語教室や情報館での読み聞かせなどの開催と内容の充実</li> </ul>			
<p>【取組の成果と課題】 英語圏だけでなく、世界各国の交流員と触れ合う機会を持つ学習を設定することができた。 こども園において、大型絵本を用いた英語での読み聞かせに取り組んだ。</p>			
<table border="1"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> </table>		評価	3
評価			
3			
基本施策 2	英語教育とICTを活用した教育の充実		
<p>③ ICTを活用した教育とプログラミング教育の推進</p> <p>【目標】 授業における1人1台タブレットや電子黒板等ICT機器の効果的な活用についての実践を積み上げ、学習指導要領に即した授業づくりをめざします。小学校におけるプログラミング教育の実践を全学年に広げ、教師の指導力向上と、児童のプログラミング的思考力の育成をめざします。</p> <p>【取組の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年で身につける情報活用能力に合わせた授業実践とその検討</li> <li>・電子黒板やタブレットの効果的活用の検証</li> <li>・ICT支援員との協力による授業づくりや計画の検討</li> <li>・教職員のICT活用力の向上</li> <li>・プログラミング教育の実践と内容の充実</li> </ul>			
<p>【取組の成果と課題】 1人1台タブレットを活用し、グループワークやまとめ作業など、効果的な活用を取り入れた授業実践の場面が増えた。 ICT支援員による研修会を実施し、すべての教職員が効果的に使えるような研修の機会を設けた。また、プログラミングの授業などの実践も、ICT支援員の助言を受けながら実施することができた。</p>			
<table border="1"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>4</td> </tr> </table>		評価	4
評価			
4			

## 基本目標 1 確かな学力を育む教育の推進

基本施策 3	授業改善の推進と学習指導の充実		
<p>① 基礎学力の定着と学力向上の推進</p> <p>【目標】 全国学力・学習状況調査、とっとり学力・学習状況調査等の学力調査結果を効果的に活用し、児童生徒の現状を的確に把握し、指導に活かします。また、県の学力向上事業を活用し、算数、英語を中心とした学力向上に取り組みます。</p> <p>【取組の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種学力調査結果の分析による課題の把握と改善に向けた取組の実施</li> <li>・県の研修パッケージを活用した校内研修の実施と授業実践の推進</li> <li>・放課後学習教室及び不登校児童生徒学習教室の取組の充実</li> </ul>			
<p>【取組の成果と課題】 教務主任と教育委員会指導主事とで学力調査の分析をし、校内研修で取り上げ、授業改善に取り組むことができた。 放課後学習支援教室で、児童生徒のニーズに応じた支援を行うとともに、不登校児童生徒への学習支援についても支援員による指導により学力向上に努めた。</p> <table border="1" data-bbox="1161 887 1299 992"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>4</td> </tr> </table>		評価	4
評価			
4			
基本施策 3	授業改善の推進と学習指導の充実		
<p>② 主体的・対話的で深い学びの実践と授業改善の推進</p> <p>【目標】 これからめざす学びの姿を再考することにより、若桜学園での授業改善を図り、児童生徒が「主体的・対話的・深い学び」を作り出せるように努めます。</p> <p>【取組の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「協同学習」についての継続的な研修と新たな研究目標による授業力の向上</li> <li>・授業研究会の開催と全教員による共通実践の推進</li> <li>・学力向上につながる対話的な授業展開の工夫</li> <li>・少人数やICT機器の充実を生かした学びのスタイルの深化・充実</li> <li>・若手教諭への指導力向上のための研修の充実</li> </ul>			
<p>【取組の成果と課題】 協同学習の指導助言者による指導により、児童主体の学びになるような授業実践の提案、研究を行った。 メンター研修を活用し、中堅、若手教諭の研修を実施し、指導力向上に取り組めた。 子供同士で学び合う学習スタイルの定着には校内研修を利用し、これからも取り組んでいく必要がある。 中学年での少人数学習指導に取り組めた。</p> <table border="1" data-bbox="1169 1865 1307 1971"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> </table>		評価	3
評価			
3			

基本目標 1 確かな学力を育む教育の推進

基本施策 3	授業改善の推進と学習指導の充実
<p>③ 教職員、保育教諭の資質・能力の向上</p> <p>【目標】 効果的で特色ある学校運営や子どもたちへのよりよい指導について、町教育委員会が適切に指導助言を行うとともに研修会の充実を図り、教職員やこども園職員の資質向上に努めます。</p> <p>【取組の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町教委による学校訪問の実施と適切な指導助言の実施</li> <li>・特別支援学級担任研修会の実施</li> <li>・新着任者研修の実施</li> <li>・校内、園内研修会の充実と互いに高め合う職員集団の形成</li> </ul>	
<p>【取組の成果と課題】</p> <p>教育委員の学校訪問や意見交換、県教委訪問を通して課題を共有し、指導助言することができた。</p> <p>特別支援教育の担任研修は実施できなかったが、担任や担当者と密な連絡を取り、学校での体制に助言することができた。</p> <p>新着任教職員のフィールドワーク、人権研修に取り組めた。こども園、学園の教職員が集合して語り合う場の設定が近年コロナの関係で実施できていない。コロナ規制が緩和されることを見込み、次年度は実施を検討する。</p>	

評 価
3

基本目標 2 豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進

基本施策 1	豊かでたくましい心をはぐくむ教育の推進		
<p>① 心の教育の充実</p> <p>【目標】          道徳教育や人権教育、人々との繋がりや体験を通して学校全体で心の教育を推進し、思いやりの心とたくましい心の育成に努めます。</p> <p>【取組の概要】          ・道徳教育推進教員、人権教育主任を中心とした道徳教育・人権教育の推進          ・人権同和教育推進協議会主催事業や若桜町部落解放研究集会等への参加促進          ・9年間を見通した心の教育の年間指導計画の策定と充実          ・スクールカウンセラーと連携した教育の推進          ・ソーシャルスキルの向上への取組の推進</p>			
<p>【取組の成果と課題】          県の道徳教育の研修を活用し、校内での道徳教育の充実を図った。教職員に深化するまでには更なる取り組みが必要である。          エゴグラムやアンガーマネジメント、生き方セミナー等、9年間を通じた性教育や心の教育の計画をもとに、実践することができた。また、心の教育にスクールカウンセラーを活用することができた。</p> <table border="1" data-bbox="1161 891 1299 994"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> </table>		評価	3
評価			
3			
基本施策 1	豊かでたくましい心をはぐくむ教育の推進		
<p>② 読書活動の推進と図書館教育の充実</p> <p>【目標】          知識を広め、心を豊かにするなど、人生をより豊かに生きるために大きな役割を果たす読書活動を推進し、学校図書館の充実を努めるとともにわかさ生涯学習情報館と連携して本に親しめる環境を整え、豊かな心を育みます。</p> <p>【取組の概要】          ・学校図書館指導員の配置と有効活用          ・学校図書館運営の充実と有効活用の促進          ・わかさ生涯学習情報館司書と学園、こども園との連携強化</p>			
<p>【取組の成果と課題】          学園、こども園、情報館、読み聞かせボランティアが連携し、定期的な読み聞かせ会の開催や、若桜学園9年生に本を贈呈する等、読書活動の推進に努めた。          情報館にて学園の自由研究を展示し、学園外への情報発信を行った。          社会への関心を深めたり読解力を身につけたりするための新聞を読む取り組みを中期・後期ブロックで実施することができた。</p> <table border="1" data-bbox="1169 1868 1307 1971"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> </table>		評価	3
評価			
3			

基本目標 2 豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進

基本施策 1	豊かでたくましい心をはぐくむ教育の推進
<p>③ キャリア教育の充実と自治力の育成</p> <p>【目標】          様々なキャリア経験者の講話や自然体験、職場体験、ボランティア活動等の継続に加え、ふるさと教育の視点を盛り込むことでふるさとへの誇りと愛着を持ち、ふるさとの課題解決へ向け貢献する態度の育成を図ります。また、児童生徒が学校行事や児童生徒会活動等に参画することで自治力の育成を図ります。</p> <p>【取組の概要】          ・キャリアパスポートを用いてのふるさとキャリア教育の実施          ・子どもシンポジウムに向けた地域学習の充実          ・「WAKASAプロジェクト(職場体験)」や「WAKASAスマイルプロジェクト(奉仕活動)」の充実          ・児童生徒が中心となり、学校行事や児童生徒会活動等での企画による自治力の育成</p>	
<p>【取組の成果と課題】          地域学校協働活動を生かし、氷ノ山登山や太鼓など、ふるさとキャリア教育活動に取り組んだ。          子どもシンポジウムにおいて、若桜町のよさや課題をテーマに地域学習で取り組んだことをまとめ、提案することができた。          児童生徒の話し合いを生かした生徒会活動、アンケートの実施などを通し、学校行事への主体的な参加を図った。</p>	
基本施策 2	体力の向上の推進
<p>① 運動好きな子どもの育成と幼児期からの体力づくりの推進</p> <p>【目標】          運動に親しむ機会を充実し、運動好きな子どもを育成するとともに幼児期からの体力向上の取組を推進します。</p> <p>【取組の概要】          ・八幡タイムや運動教室の実施(ちやれきんぐ・温水プール活用等)          ・保護者啓発の取組の充実          ・幼児向け体力テストの実施と分析を生かした取組の推進</p>	
<p>【取組の成果と課題】          ちやれきんぐの取り組みを通して、柔軟性や投げる力など運動における課題を把握し、課題解決に向けた運動の仕方を考えることができた。          保護者啓発においてはできていないため、今後は家庭での遊びなどを通じた運動活動の連携が必要である。</p>	

評価
4

評価
2

基本目標 2 豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進

基本施策 2	体力の向上の推進		
<p>② 児童・生徒の運動習慣づくりと体力向上の推進</p> <p>【目標】 運動の機会を確保する取組や体育学習の充実を図り、体力・運動能力の向上に努めます。また、講演会などの取組を通じて運動と生活習慣を関連付けて学び、児童・生徒の運動習慣作りの向上に努めます。</p> <p>【取組の概要】 ・体力向上推進計画の充実と体力テスト結果分析を生かした取組の充実 ・児童生徒会による体力向上の取組の継続 ・体育学習の充実と休憩時間、放課後等における運動機会の確保 ・運動部活動、課外体育活動の充実 ・児童生徒による企画を中心とした休憩時間の運動遊びの取組</p>			
<p>【取組の成果と課題】 学校で計画した体力向上計画をもとに、学校生活での運動活動、部活動の充実を図った。 年間を通して、中間休憩時のマラソンや体育学習、部活動前のランニングなど、走力を高める運動に取り組んだ。 柔軟性や投げる力など、課題となる運動についての機会の確保や場の設定が必要である。</p> <table border="1" data-bbox="1161 887 1299 994"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> </table>		評価	3
評価			
3			
基本施策 2	体力の向上の推進		
<p>③ こども園、学園、地域が連携した体力向上の推進</p> <p>【目標】 若桜町子どもの体力向上事業を中心として、こども園、学園、地域が連携して幼児期から義務教育終了までの一貫した体力づくりを進めます。</p> <p>【取組の概要】 ・若桜町子どもの体力向上事業の充実 ・こども園において、外部専門員による運動教室を開催し、運動の機会の充実を図る ・体力向上推進部会において子どもの実態と課題点について検討し、その対応した取組の実施 ・体力・運動能力に係る接続カリキュラムをもとにした実践</p>			
<p>【取組の成果と課題】 こども園での運動教室や体力測定の実施、学校での体力テストなど、それぞれで取り組み、課題の把握、運動機会の充実を図った。一方で、幼児期から小学生にかけてのカリキュラムなどの見直しをすることで、一貫した運動の計画などを協議し、計画していく必要がある。</p> <table border="1" data-bbox="1169 1865 1307 1973"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>2</td> </tr> </table>		評価	2
評価			
2			

基本目標 2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進

基本施策 3	健康教育の推進		
<p>① 望ましい生活習慣の確立</p> <p>【目標】 学校生活や園生活を充実して送ることができるよう、早寝早起きや食事等の生活リズムや電子メディアとのつきあい方等に係る取組について、学園とこども園が連携するとともに家庭や関係機関を巻き込んで進めていきます。</p> <p>【取組の概要】 ・一貫教育協議会を中心とした生活習慣についての取組の推進 ・ハッピーすこやか週間、ノーメディアチャレンジ週間の取組の実施 ・学校保健委員会による現状の分析と、保健、体育、生活、給食担当の連携による実践の充実 ・メディアコントロールや情報モラルについての教職員向けの研修会の実施と児童生徒に向けた効果的な指導の実施</p>			
<p>【取組の成果と課題】 こども園、学園で足並みをそろえてハッピーすこやか週間を実施し、家庭と連携しながら生活習慣の見直しに取り組めた。 学校保健委員会でグループ協議を行い、生活改善に関する意見交換会を実施することができた。 タブレット活用に伴い、情報モラルの学習を発達段階に応じて実施することができた。</p>			
<table border="1"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>4</td> </tr> </table>		評価	4
評価			
4			
基本施策 3	健康教育の推進		
<p>② 学校保健の充実</p> <p>【目標】 保健の学習や保健指導を充実し、健康の保持増進に係る知識や態度の育成を図ります。また、性に関する問題、自尊感情を中心に取り上げ、実態に応じた学校保健委員会の開催等による健康教育の推進に努めます。</p> <p>【取組の概要】 ・こころ・いのち・体の年間指導計画の改善と指導の充実 ・保健学習、保健指導の充実 ・学校保健委員会の充実</p>			
<p>【取組の成果と課題】 学校保健計画、性に関する年間計画に沿って授業を行い、自他ともに大切にすることを育てる実践に取り組むことができた。 学校保健委員会でのグループ協議は有効であったが、限られたメンバーでの協議となるため、コロナが落ち着いたら、拡大の学校保健委員会を開催するなど、保護者にも参画してもらおうような工夫が必要である。</p>			
<table border="1"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> </table>		評価	3
評価			
3			



基本目標 2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進

基本施策 3	健康教育の推進
<p>③ 食育の推進</p> <p>【目標】          児童生徒が食に対する正しい知識や望ましい食生活の習慣を身につけるよう、栄養教諭と教職員の連携による指導の充実を図りながら食育を推進します。</p> <p>【取組の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育の指導計画の作成と栄養教諭と学級担任の連携による食育指導授業の実施</li> <li>・全教職員による給食時の指導や給食週間等を活用した食の指導の充実</li> <li>・食材生産者や納入者とのふれあいの機会の充実</li> <li>・食習慣改善に向けた家庭への通信等による啓発</li> </ul>	
<p>【取組の成果と課題】</p> <p>栄養教諭による食育指導、家庭科等での授業など、食に関する全体計画をもとに実践することができた。</p> <p>コロナ対応のため、ここ数年間黙食が続いている。状況を鑑みながら、生産者との交流給食や楽しみながら食に触れる機会をつくっていく必要がある。</p> <p>イチオシ若桜メシによる給食の様子の発信ができた。</p>	

評価
3

基本目標 3 子どもたちを支える教育環境づくり

基本施策 1	安全な施設・設備の整備		
<p>① 安全で快適な教室環境の整備・充実</p> <p>【目標】 子どもたちが1日の大半を過ごすのが教室であり、そこで快適に集中して学習が行えるよう、教室環境の整備・充実に努めます。</p> <p>【取組の概要】 ・学校環境衛生検査の実施 ・施設内の消毒、細目な換気等、新型コロナウイルス感染症の予防の徹底。</p>			
<p>【取組の成果と課題】</p> <p>学校保健安全法で定める環境衛生基準に沿った検査を計画的に行い、清潔で快適な生活ができる環境を整えた。 また、毎日施設内の消毒、細目な換気等を実施し、新型コロナウイルスをはじめとする感染症予防の徹底を図った。 今後も継続して環境衛生検査の実施や感染症予防を徹底し、子どもたちが快適に集中して学習が行えるように教室環境を整える必要がある。</p> <table border="1" data-bbox="1212 884 1348 996"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> </table>		評価	3
評価			
3			
基本施策 1	安全な施設・設備の整備		
<p>② 防犯・防災設備の整備・充実</p> <p>【目標】 子どもたちの安全・安心な学校生活を守るため、ソフト面・ハード面からも防犯・防災設備の整備・充実を図ります。また、登下校時の交通事故等を防ぐため、通学路の安全を確保します。</p> <p>【取組の概要】 ・防犯、防災計画の点検、修正と訓練の実施 ・学校関係者の危機管理能力の向上 ・通学路等の安全点検と整備、安全対策の推進</p>			
<p>【取組の成果と課題】</p> <p>通学路安全推進協議会及び道路管理者等も含めた合同点検を実施し、横断歩道の引き直し等危険箇所の改善を図った。 通学路の危険ブロック塀については、今後も県や総務課と協力して撤去や改修を指導していく必要がある。</p> <table border="1" data-bbox="1220 1859 1356 1971"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> </table>		評価	3
評価			
3			

基本目標 3 子どもたちを支える教育環境づくり

基本施策 1	安全な施設・設備の整備		
<p>③ 危険箇所、老朽箇所の点検・整備</p> <p>【目標】 子どもたちが、楽しく安全に学校生活を送れ、安全で良好な施設環境を保持するために、校舎の定期的な安全点検、経年劣化での老朽箇所を修繕します。</p> <p>【取組の概要】 ・校舎の定期的な安全点検の実施 ・安全のため急を要する修繕箇所がある場合は、修繕の実施</p>			
<p>【取組の成果と課題】</p> <p>加圧給水ポンプ取替工事を実施した。また、校舎屋根瓦等必要に応じて修繕を実施した。 校舎の老朽化が進んでいるため、今後も危険箇所や老朽箇所の点検を行い、必要に応じて整備等を実施する予定である。</p> <table border="1" data-bbox="1166 891 1302 999"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> </table>		評価	3
評価			
3			
基本施策 1	安全な施設・設備の整備		
<p>④ 給食センター施設の適切な管理・運営</p> <p>【目標】 安全でおいしい給食を提供するために、アレルギー対策の推進、異物混入ゼロに努め、若桜町産の食材や県産品を積極的に取り入れます。また、調理機器等のメンテナンス、清掃等を行います。</p> <p>【取組の概要】 ・地産地消、県産品利用の推進 ・給食施設の維持、衛生管理、異物混入ゼロの徹底 ・安心、安全な調理の徹底 ・食材調達の手滑化 ・食物アレルギーのある児童生徒に対する対応可能な範囲での給食の提供 ・調理機器等のメンテナンス、清掃等の実施 ・「イチオシ若桜メシの日」を毎月25日に実施</p>			
<p>【取組の成果と課題】</p> <p>地産地消推進の為、令和元年度より実施している「イチオシ若桜メシの日」の取組を継続して実施した。若桜町産の食材を多く使用した献立とすることで、地元食材を知り、味わいながら食材や生産者を大切に思う機会とし、食育につなげることができた。 安心、安全な給食を提供できるよう、厨房機器点検、調理機器等のメンテナンス、清掃等を行った。今後も継続して衛生管理の徹底、設備や備品等の点検、メンテナンス、清掃等を行う必要がある。</p> <table border="1" data-bbox="1177 1868 1313 1975"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> </table>		評価	3
評価			
3			

基本目標 3 子どもたちを支える教育環境づくり

基本施策 2	子どもたちが安心して学べる環境の充実		
<p>① 教育相談体制の整備・充実</p> <p>【目標】 子どもたちの教育相談体制の整備充実に努め、スクールソーシャルワーカーを中心とし、心の相談員やスクールカウンセラーと学園・こども園の教職員との連携を充実させ、いじめ・不登校等に即時的かつ継続的対応ができるよう努めます。</p> <p>【取組の概要】 ・教育相談コーディネーターを中心に、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーとの相談体制の充実に図り、福祉部局等関係機関と連携した連絡体制の強化 ・適応対策委員会、いじめ防止対策委員会の実施 ・定期的なケース会議を実施し、アセスメント、プランニング、プランの実行という一連の流れを教職員が把握し、早期支援に向かう体制の強化 ・児童生徒理解を深めるための教職員の資質向上への支援および研修の実施</p>			
<p>【取組の成果と課題】 ケース会議、適応対策委員会、町教育支援会議等年間を通して整った体制で支援体制を構築することができた。 校内だけでなく、関係機関とのネットワークを活用し、スクールソーシャルワーカーのコーディネートのもと、支援の必要な児童生徒、家庭への働きかけができた。</p> <table border="1" data-bbox="1220 891 1348 996"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>4</td> </tr> </table>		評価	4
評価			
4			
基本施策 2	子どもたちが安心して学べる環境の充実		
<p>② 特別支援教育の充実</p> <p>【目標】 障がいのある子どもたちの自立をめざし、個々の教育的ニーズに的確に応えることができるよう教育環境や支援体制の充実に努めます。また、幼児期から適切な指導を行うため、障がいの早期発見や支援が行える体制と教育環境の整備に努めます。</p> <p>【取組の概要】 ・関係機関との連携と町講師及び支援員の配置による特別支援教育の充実 ・3歳児健診、5歳児健診による障がいの早期発見・支援の実施と就学相談の充実 ・個別の支援計画作成活用による幼保小中一貫した支援の実施 ・特別支援教育担当者を対象とした研修会の開催による指導力の向上</p>			
<p>【取組の成果と課題】 個別の教育支援計画や個別の指導計画をもとに、個々に応じた支援を行い、必要に応じて対応を変えていくような日々の実践に取り組んだ。 5歳児健診での保護者への説明、就学時健診時の見立てなどを行い、早期支援につなげるための保護者との連携をとることができた。また、教育相談を適宜実施できた。 特別支援教育担当者への研修や指導助言を行うとともに、LD等専門員の巡回、陽性訪問等を活用し、子に応じた適切な支援ができるような配慮を行った。</p> <table border="1" data-bbox="1228 1870 1356 1975"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>4</td> </tr> </table>		評価	4
評価			
4			

基本目標 3 子どもたちを支える教育環境づくり

基本施策 2	子どもたちが安心して学べる環境の充実		
<p>③ 他者を思いやる仲間づくりの推進</p> <p>【目標】 互いの思いを受け止め、自分の思いを安心して話せる雰囲気づくりに努め、計画的なソーシャルスキルを学ぶ学習等の実施や学び合い高め合える学級づくりを推進します。</p> <p>【取組の概要】 ・協同学習を中心とし、お互いが高め合える学級集団づくりの研修と実践 ・異学年の学び合いの場、交流の場の充実と仲間づくりの推進 ・自己肯定感を高めるとともに、他を思いやり尊重する学習の充実</p> <p>【取組の成果と課題】 縦割り班活動などを通じた異学年交流を実施した。 教師がリードする学習場面、生活場面がまだ多く見られ、協同学習の成果を学級集団づくりに生かしていくことについてはまだ課題が残る。また、異学年交流の場も多く設定されているが、自分の考えや意見を出すことに消極的な児童生徒もまだまだ多く見られ、日々の生活、学習場面での経験を積ませていく指導が必要である。</p> <table border="1" data-bbox="1165 891 1305 1003"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>2</td> </tr> </table>		評価	2
評価			
2			
基本施策 2	子どもたちが安心して学べる環境の充実		
<p>④ 児童生徒への助成制度の充実</p> <p>【目標】 助成制度の充実を図り、安心して学習できる環境づくりに努めます。</p> <p>【取組の概要】 ・就学援助の実施 ・奨学資金貸与の実施 ・奨学資金返還支援助成の実施 ・通学助成の充実</p> <p>【取組の成果と課題】 就学援助制度について、今後、タブレット端末を家庭に持ち帰って使用することを想定し、オンライン学習費を支援項目の追加及び支援内容の検討が必要である。 奨学資金貸与制度について、貸付件数が減少しており制度内容の見直しを検討する必要がある。また、奨学資金返還支援助成については、広報等で周知を行い、人材確保と定住促進を図ることが必要である。 高校生の通学助成制度では、個人負担を月額5,000円までとし、高校生家庭の負担軽減を図ることができた。</p> <table border="1" data-bbox="1177 1848 1318 1975"> <tr> <td>WO 評価</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> </table>		WO 評価	3
WO 評価			
3			

基本目標 3 子どもたちを支える教育環境づくり

基本施策 3	ふるさと若桜の特色ある学校づくりの推進		
<p>① 若桜の特色を生かした学習の推進</p> <p>【目標】 地域の自然及び産業の特色、そこに暮らす人々との繋がりを大切にした教育を推進し、若桜を愛し、自信と誇りを持って生きていく子どもたちを育てます。</p> <p>【取組の概要】 ・各学年における若桜を題材にした学習によるふるさとキャリア教育の充実 ・若桜子どもシンポジウムの開催と町と連携した取組の実現 ・氷ノ山の自然を生かした取組の充実(スキー教室、スキー遠足等) ・地域学校協働活動と連携を密にし、地域人材を活用した学習の充実(和太鼓、書道、茶道等)</p>			
<p>【取組の成果と課題】 町内の資源を活用した教材を開発し、実践することができた。 子どもシンポジウムを通して町への提案を行い、学びを発展させることができた。 氷ノ山登山やスキー教室など、町内の自然を活用した学校行事や特別活動に取り組むことができた。 和太鼓やトランプロビクス、スキー部の指導など、地域人材を生かした取組ができた。</p> <table border="1" data-bbox="1220 891 1347 999"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>4</td> </tr> </table>		評価	4
評価			
4			
基本施策 3	ふるさと若桜の特色ある学校づくりの推進		
<p>②特色ある学校づくりへの支援</p> <p>【目標】 地域人材を積極的に活用できるよう支援するとともに、学校が独自で活用できる補助金により、特色ある学校づくりを支援します。</p> <p>【取組の概要】 ・特別非常勤講師活用の推進 ・特色ある学校づくり補助金の継続</p>			
<p>【取組の成果と課題】</p> <p>継続して和太鼓指導を地域の方に熱心に指導していただき、児童生徒への意欲向上やふるさとキャリア教育の充実につながっている。 若桜の特色を生かしたスキー体験活動等の取り組みが継続的に行うことができている。</p> <table border="1" data-bbox="1232 1870 1358 1977"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> </table>		評価	3
評価			
3			

基本目標 3 子どもたちを支える教育環境づくり

基本施策 3	ふるさと若桜の特色ある学校づくりの推進		
<p>③ コミュニティ・スクールの推進</p> <p>【目標】 子どもや学校の抱える課題の解決、未来を担う子ども達の豊かな成長のために、社会総がかりでの教育の実現を進めるため、学校・保護者・地域住民が協働した取り組みを推進します。</p> <p>【取組の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものための学校づくり協議会(学校運営協議会)の開催計画に基づいた協議の推進</li> <li>・地域学校協働本部コーディネーターの配置による地域人材を活用した諸活動の実施</li> <li>・課題の共通認識と目標やビジョンの共有</li> <li>・教職員における制度理解と取り組みの円滑な推進に向けた体制づくり</li> </ul>			
<p>【取組の成果と課題】</p> <p>生徒を交えた熟議を行い、学校の強みや弱みを見つけ、これから取り組めそうな学校での活動について話し合うことができた。</p> <p>地域人材の活用は推進員を中心に進めており、より多くの協力者を募るためのリーフレットを配布するなど啓発を行った。</p> <p>教職員のコミュニティ・スクールへの理解を更に高めていく必要がある。</p> <table border="1" data-bbox="1220 891 1347 999"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> </table>		評価	3
評価			
3			

## 基本目標 4 ライフステージに応じて学び続ける生涯学習の推進

基本施策 1	生涯にわたって学び続けるための社会教育活動の推進	
<p>① 多様な学習ニーズに対応した学習機会の提供</p> <p>【目標】 町民の生きがいづくりや人生を豊かにするための学習活動を充実させ、学びの成果が地域づくりに発展するように努め、地域課題の解決に向けた取組を推進します。</p> <p>【取組の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種講座の開催</li> <li>・ライフステージに応じた学習機会の充実 公民館事業：寿大学、ナティキッズ、ものづくり講座、鳥取県民カレッジ連携事業 情報館事業：乳幼児～小学生を対象とした読み聞かせ、おはなし会、子どもの本まつり 各種企画展示、講座の実施等</li> <li>・地域課題に応える学習機会の充実</li> <li>・学びの成果を地域社会に還元する仕組みづくり</li> <li>・子ども読書活動推進計画に沿った施策の推進</li> </ul>		
<p>【取組の成果と課題】</p> <p>講座や体験学習、絵本の読み聞かせやお話会等を実施し、ライフステージに応じた学びの機会を提供することができた。</p> <p>鳥取県立生涯学習センターと講座を共同開催する等、他団体との連携を図った。</p> <p>公民館講座で参加者が作成した作品を町民文化祭で展示する等、学びの成果を地域に還元する取り組みを行った。</p> <p>事業に対するニーズの把握、効果的な情報発信について検討する必要がある。特に情報館が単に本を借りる場所ではなく、情報発信の拠点であることを啓発していく必要がある。</p>		
<table border="1"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> </table>	評価	3
評価		
3		
基本施策 1	生涯にわたって学び続けるための社会教育活動の推進	
<p>② 生涯学習施設的环境整備と活用の促進</p> <p>【目標】 生涯学習に参加しやすい仕組みや環境を整備するとともに、生涯学習の情報を発信してサークル・グループ活動の活性化や生涯学習活動の支援に努めます。</p> <p>また、わかさ生涯学習情報館が、町民にとって身近で利用しやすい地域の教養と情報の拠点となるよう充実を図ります。</p> <p>【取組の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で利用しやすい生涯学習施設とするため、施設の営繕、環境整備を行う</li> <li>・学習の成果の発表の場の提供(町民文化祭、作品展示等)</li> <li>・公民館サークル活動支援の充実</li> <li>・ホームページ、広報紙、IP告知端末、SNS等を活用した情報発信</li> <li>・移動図書館車(ムーブック)や図書情報提供等を効果的に活用した読書機会の提供</li> <li>・読書通帳の活用による読書活動の推進</li> </ul>		
<p>【取組の成果と課題】</p> <p>誰もが利用しやすい施設となるよう、池田分館の改修工事を実施した。</p> <p>公民館サークル活動補助金の要綱見直しを行い、サークル活動支援の充実を図った。</p> <p>読書活動の推進においては、随時その時々テーマに沿った本の展示コーナーを設ける等本に親しんでもらえる工夫を行った。</p> <p>公民館、情報館がサードプレイスとして活用されるよう啓発を行う必要がある。</p> <p>施設設備の経年劣化が見られるので、順次修繕を行う必要がある。</p>		
<table border="1"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> </table>	評価	3
評価		
3		



基本目標 4 ライフステージに応じて学び続ける生涯学習の推進

基本施策 2	家庭・地域の教育力向上		
<p>① 家庭教育支援事業の充実</p> <p>【目標】 対象者のニーズと地域課題として取り組む必要がある内容について把握し、学びやつながりの場の提供により保護者意識を高めながら、学びの場への参加を促し、地域全体での家庭教育支援を目指します。</p> <p>【取組の概要】 ・保護者同士や地域住民とつながりの持てる場の検討 ・親子で一緒に参加できる事業の実施</p> <hr/> <p>【取組の成果と課題】 新型コロナウイルス感染対策のため、IP端末を活用し、親子で取り組める料理動画の配信し、家庭教育の推進を図った。 保護者同士や地域住民とつながりの持てる場を検討する必要がある。</p> <table border="1" data-bbox="1222 891 1347 1003"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> </table>		評価	3
評価			
3			
基本施策 2	家庭・地域の教育力向上		
<p>② 家庭教育支援体制の整備</p> <p>【目標】 家庭教育が円滑に進められるよう、学校や地域社会、他部局と連携を図りながら、子の誕生から自立までの切れ目のない支援に努めます。</p> <p>【取組の概要】 ・家庭教育支援活動の検討と関係部局との連携推進 ・こども園や学園との課題共有と事業実施に向けた連携 ・活動支援人材の発掘及び育成</p> <hr/> <p>【取組の成果と課題】 新型コロナウイルス感染症の影響により、関係機関との連携や人材育成を進めることができなかつた。各種研修への参加を通してスキルアップに努めた。</p> <table border="1" data-bbox="1232 1870 1356 1982"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>1</td> </tr> </table>		評価	1
評価			
1			

基本目標 4 ライフステージに応じて学び続ける生涯学習の推進

基本施策 3	地域社会全体で子どもを守り育てる体制づくりの推進		
<p>① 学校・地域と連携した青少年育成の体制づくり</p> <p>【目標】 あいさつ+ONE運動や青色回転灯車両による防犯パトロールなど、学校や地域と連携した取組を通じて、子ども達が安心して健やかに成長できる環境を整えます。</p> <p>【取組の概要】 ・地域住民による主体的な学校や子ども達を支援する取組の推進 ・青少年健全育成のための支援及び啓発(青少年育成若桜町民会議等) ・子ども達への声かけや安全対策の充実</p>			
<p>【取組の成果と課題】 青色回転灯車両による巡回パトロールや夏休みの巡回パトロール、あいさつ+ONE運動等の活動を行い、子どもたちへの声かけや安全対策を実施した。各種活動に実施に当たって、PTA、更生保護女性会、民生児童委員等の地域団体と協働することができた。</p> <table border="1" data-bbox="1161 891 1300 999"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> </table>		評価	3
評価			
3			
基本施策 3	地域社会全体で子どもを守り育てる体制づくりの推進		
<p>② 放課後の子どもの生活・学習支援の充実</p> <p>【目標】 諸事情により放課後や夏休みなどに保護者(祖父母を含む)が家庭にいない児童を預かり、集団活動の中で学習時間の確保や遊びを通して児童の健全育成を図るとともに、保護者の子育てを支援します。</p> <p>【取組の概要】 ・放課後児童クラブの安全・安心な事業実施 ・放課後児童クラブ支援員の知識・技能のスキルアップ ・放課後児童クラブと学校、保護者との相互の連携と円滑な運営</p>			
<p>【取組の成果と課題】 放課後児童クラブでは支援員の丁寧で熱意ある指導の下で、児童の健全な育成を行うことができた。また、保護者との連携を密にし情報交換を行うことで、安心して児童を預けてもらうことができた。 今年度、臨時休所の連絡方法として「マチコミ」を導入したことで、臨時休所持の迅速で確実な連絡体制を整えることができた。 2名の支援員で運営しているが、今後の安定したクラブ運営に向け支援員の確保が課題となっている。</p> <table border="1" data-bbox="1171 1868 1310 1975"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> </table>		評価	3
評価			
3			

基本目標 4 ライフステージに応じて学び続ける生涯学習の推進

基本施策 4	誰もが安心して暮らせる人権尊重社会実現のための教育の推進		
<p>① 人権教育・啓発の推進</p> <p>【目標】 町民一人一人が、人権に対する正しい理解と認識を深め、人権感覚を養い人権尊重の精神を高めることを目標とし、学校・家庭・地域社会相互の緊密な連携のもとに、時代の変化に伴う新たな人権課題の情報発信とそれに対する学習を推進します。</p> <p>【取組の概要】 ・就学前や学校における人権教育の推進 ・社会教育における人権教育の推進 ・人権啓発の拠点としてのふれあい交流センター事業の推進</p> <p>【取組の成果と課題】 部落解放若桜町研究集会をはじめ、同推教の小地域学習講座や研修等の各種事業、部落解放ふれあいまつり、若桜町ふれあい交流センターの事業などを実施し、人権に対する理解と認識を深めることができた。 企業との人権研修に対する協議の場を持ち、新たな連携の足がかりを作ることができた。集落単位での学びの場の提供に差が生じ始めており、推進方法等の検討が必要である。新たな人権課題に取り組むうえで、講師の発掘や参加意識の高揚を進める必要がある。</p> <table border="1" data-bbox="1220 891 1348 1003"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> </table>		評価	3
評価			
3			
基本施策 4	誰もが安心して暮らせる人権尊重社会実現のための教育の推進		
<p>② 人権擁護と人権侵害の救済に関する施策の推進</p> <p>【目標】 町民一人一人が自己・他者の個人情報やプライバシーの保護意識を高めていくよう啓発に努め、また関係機関・団体と連携して相談、救済、擁護に努めることにより、差別を許さないまちづくりを推進します。</p> <p>【取組の概要】 ・個人情報やプライバシーの保護に関する意識を高める施策の推進 ・差別事象への対応体制の整備・充実 ・人権侵害の救済と擁護の取組の推進</p> <p>【取組の成果と課題】 部落解放ふれあいまつりでの人権コンサートや人権擁護委員との連携による人権相談や人権の花運動など年間を通じて実施できた。 人権週間における啓発として、横断幕の新調や各企業への人権バッジの配布、着用依頼を行い、意識高揚に務めた。 各企業との差別事象対応について、周知と連携を図る必要がある。 インターネットモニタリングを定期的に行う必要があるが、時間の確保が課題である。</p> <table border="1" data-bbox="1220 1870 1348 1982"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> </table>		評価	3
評価			
3			

基本目標 4 ライフステージに応じて学び続ける生涯学習の推進

基本施策 5	男女共同参画社会実現のための取組の推進
<p>① 男女共同参画に関する施策の推進</p> <p><b>【目標】</b>            固定的性別役割分担意識にとらわれることなく、男女ともに積極的に責任と参画の分担ができるよう、学習機会の提供や意識啓発を推進します。</p> <p><b>【取組の概要】</b>            ・男女共同参画の推進に向けた関係機関との連携            ・研修会等の学習機会の提供</p>	
<p><b>【取組の成果と課題】</b>            東部圏域で連携したオンライン講座について、広報による全戸配布を行った            り、男性のための料理教室(家庭教育事業と合同実施)の動画配信をIP告知端            末を活用し、広く町民に周知することができた。            また、オンラインによる啓発講座は、参加人数が少ないため、時期、時間帯等            の検討が必要である。</p>	

評価
3

基本目標 5 文化、芸術、スポーツの振興

基本施策 1	ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーション活動の推進		
<p>① 地域スポーツの振興</p> <p>【目標】 ライフステージに応じたスポーツ活動を推進していくことで、人と人との交流及び地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成し、人間関係の希薄化等の問題を抱える地域社会の再生に貢献するため、住民が主体的に参画する地域スポーツの振興を推進します。</p> <p>【取組の概要】 ・町内スポーツ大会の活性化(若桜町体育協会) ・地域スポーツクラブ活動の推進(総合型地域スポーツクラブ若桜クラブ) ・スポーツを通じた交流活動の推進</p> <p>【具体的取組】 ・町内スポーツ大会の参加条件、競技ルール等の再検討 ・地域スポーツクラブ活動のための支援</p>			
<p>【取組の成果と課題】 町内スポーツ大会については、開催可否の判断基準をもって進めるとともに、大会開催に務め、概ねの大会を計画どおりに実施することができた。 地域スポーツクラブの活動については、withコロナの事業内容を検討し、概ねの事業を計画通りに実施することができた。 規模の大きい事業になるほど、開催が難しい傾向であるため、開催方法や内容について、早めの検討を行う必要がある。</p>			
<table border="1"> <tr><td>評価</td></tr> <tr><td>3</td></tr> </table>	評価	3	
評価			
3			
基本施策 1	ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーション活動の推進		
<p>② 体力・健康づくりの支援</p> <p>【目標】 多様なニーズに応えるためスポーツを行う環境を整備し、スポーツ推進委員をはじめとした指導者の育成、スポーツ活動の拠点となる施設の整備に努め、誰もが、年齢、性別、障がいの有無を問わず、ライフステージに応じてスポーツに親しむ機会の提供の充実を図ります。 また、町民の健康づくりの意識向上とスポーツを通じた健康増進を図ることによってスポーツライフの実現を目指します。</p> <p>【取組の概要】 ・スポーツする機会の充実 ・スポーツに親しむ機会の提供 ・健康づくりの意識向上と運動習慣の定着化</p> <p>【具体的取組】 ・体力測定等を通じて、現状把握に努め、健康づくりの意識向上を図る ・健康増進と軽スポーツの実践</p>			
<p>【取組の成果と課題】 各種スポーツ大会の開催に合わせて、スポーツ推進委員によるスポーツ教室を開催し、スポーツに親しむ機会を提供することができた。 町民体育館等各種施設の開館やわかさ温水プールの各種教室により、利用者のスポーツ活動の維持増進に取り組んだ。 町民の健康づくりの意識向上に向けた啓発に取り組めておらず、その内容や手段等について検討を行う必要がある。</p>			
<table border="1"> <tr><td>評価</td></tr> <tr><td>2</td></tr> </table>	評価	2	
評価			
2			

基本目標 5 文化、芸術、スポーツの振興

基本施策 1	ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーション活動の推進		
<p>③ 社会体育の在り方についての検討</p> <p>【目標】 町内のスポーツ団体は多く存在します。各組織の在り方や連携強化、幼児期から学齢期までの一貫性のあるスポーツ活動への取組について、幅広く検討します。</p> <p>【取組の概要】 ・各スポーツ関係団体の組織の在り方や連携強化についての検討 ・幼児期から学齢期までの一貫性のあるスポーツ活動の在り方の検討</p> <p>【具体的取組】 ・各スポーツ団体の活動範囲と取組についての確認 ・スポーツ少年団や中学校部活等の取扱についての確認</p>			
<p>【取組の成果と課題】 各スポーツ団体の組織の在り方や連携強化及び幼児期から学齢期までの一貫性のあるスポーツ活動の在り方について、検討することができなかった。</p> <table border="1" data-bbox="1161 902 1299 1010"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>1</td> </tr> </table>		評価	1
評価			
1			
基本施策 2	歴史や伝統の保護・活用と文化、芸術の振興		
<p>① 町内の文化財及び伝統文化の保存活用の推進</p> <p>【目標】 国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された若桜の町並みの保存活用をはじめ、国史跡指定15周年を迎える若桜鬼ヶ城跡、国指定重要文化財不動院岩屋堂など、指定・未指定含めて町内の貴重な歴史遺産や伝統文化の保存活用など、後世へ確実に伝えていくために必要な取組を推進します。</p> <p>【取組の概要】 ・保存活用計画に基づいた伝建地区の保存活用及び住民の町並み保存に向けた機運の醸成の推進 ・国指定史跡若桜鬼ヶ城跡の保存整備及び周知方法の検討 ・町内の指定文化財に加え、伝統文化や民俗行事など未指定の文化財も含めた保存活用の推進</p>			
<p>【取組の成果と課題】 跡若桜鬼ヶ城跡が国史跡指定15周年を迎える年を記念し、講演会を開催し鬼ヶ城の魅力と歴史的価値について学ぶことができた。また、保全整備のため景観支障木の伐採等を行い、引き続き保存整備を進めていく必要がある。 町内の指定文化財及び未指定の文化財の保存活用について検討する必要がある。</p> <table border="1" data-bbox="1161 1877 1299 1984"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> </table>		評価	3
評価			
3			

基本目標 5 文化、芸術、スポーツの振興

基本施策 2	歴史や伝統の保護・活用と文化、芸術の振興		
<p>② 続編若桜町誌の編さんの推進と地域の歴史的資料の継承</p> <p>【目標】 旧池田村との合併から現在までの町のあゆみをまとめた「続編若桜町誌」の校正作業を進め、冊子の刊行を行うとともに、町内に残る歴史資料の保存のあり方を検討します。</p> <p>【取組の概要】 ・「続編若桜町誌」刊行に向け、編さん委員会・監修部会による校正の実施及び冊子の刊行 ・編さん資料の整理を含めた町内に残されている歴史的資料の把握及び継承方法の検討</p>			
<p>【取組の成果と課題】 「続若桜町誌」発刊に向け、編さん委員会、監修部会を開催したが、想定した以上に編さん作業を行う中で、資料収集や内容の見直し、確認作業などに時間を要し、年度内の冊子の発刊が難しくなった。 執筆内容の検証および校正作業を丁寧かつ迅速に進め、5年度内の冊子刊行を目指す。</p> <table border="1" data-bbox="1225 891 1350 999"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>2</td> </tr> </table>		評価	2
評価			
2			
基本施策 2	歴史や伝統の保護・活用と文化、芸術の振興		
<p>③ 文化芸術の拠点施設の活用と町内の文化活動の支援</p> <p>【目標】 芸術文化の拠点施設である若桜郷土文化の里の有効活用を推進するとともに、町民が芸術に触れる機会を提供し、また芸術活動の支援に努めます。</p> <p>【取組の概要】 ・若桜郷土文化の里各施設の有効な利用を推進 ・町民が芸術文化に触れることができる機会の提供 ・住民主体による文化活動の支援及び芸術文化振興の推進 ・有形・無形を問わず後世に伝えるべき文化の保存を推進する</p>			
<p>【取組の成果と課題】 年間10回の企画展示を実施し、町民が芸術文化に触れる機会を提供できた。 三百田氏住宅や歴史民俗資料館の利活用が課題となっている。 若桜郷土文化の里運営委員会を開催し、企画展示の方向性や施設の利活用について協議を行っている。</p> <table border="1" data-bbox="1232 1868 1359 1975"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> </table>		評価	3
評価			
3			